

第2学年社会科（歴史的分野）学習指導案

日時 平成23年11月2日（水）
場所 江津市立桜江中学校2年教室
指導者 江津市立桜江中学校
教諭 山下 積

1. 単元名 第6章 第1節 第一次世界大戦とアジア・日本

2. 目標

- 第一次世界大戦の世界の動きに関心を持ち、各国で起きたデモクラシーの風潮や民族運動の高まりについて意欲的に調べようとする。 【関心・意欲・態度】
- 各国で起きたデモクラシーの風潮や民族運動の様子を当時の社会の様子と関連づけて考えることができる。 【思考・判断・表現】
- 資料を活用して、第一次世界大戦後の国際社会の動きや国内の諸問題を読み取り、まとめて発表することができる。 【資料活用の技能】
- 第一次世界大戦が起きた背景やその後の国際社会の動き、及び大正デモクラシーと社会の変化について理解できる。 【知識・理解】

3. 基盤

1914年に勃発した第一次世界大戦は、国内に好景気をもたらす一方で、物価の高騰を招き、米騒動を引き起こすきっかけとなった。この米騒動は、商人が物価高を利用し、シベリア出兵にかこつけ米の買い占めを行ったことが原因の一つとなっている。このことから、当時は大日本帝国憲法が制定されてはいるものの、国民の自由や権利が十分に保障されていない社会であり、そうしたゆがんだ社会に対し、民衆が立ち上がっていく動きが活発になっていったという当時の社会背景を学習していくことができる。また、政府は、寺内内閣の総辞職と原内閣の成立という形で米騒動の決着をつけたが、この米騒動には被差別部落の人々も参加しており、被差別部落の人々に対して政府は、まるでこの騒動の首謀者であるかのようにとらえ、厳罰を科すという一面があった。このことは、解放令が出された後も、尚ほい部落差別が続いていたことを明らかにする出来事であった。このような社会に対し、被差別部落の人々は、差別と闘い、平等な社会を実現するために全国水平社を設立させた。その際出された『水平社宣言』には、差別意識の本質を見抜き、社会を構成する一員として人間の尊厳を唱える被差別部落の人々の願いが込められている。ここで水平社運動の根底にある考えを生徒が学習することは、人権が尊重される現代社会を構成する一員として生きていく上で大変意義深いものである。そして、水平社創立に関わってきた人々の姿から、差別と闘い人間らしく生きていく権利を得ることの大切さを学ぶことができ、また、差別はいかに人々を苦しめる不合理なものなのかを感じ取ることもできる。

… <個人情報保護のため省略> …

本単元では、米騒動などの社会的事象を通し、国民の権利が十分に保障されていない当時の日本社会の様子をしっかりとおさえていきながら学習を進めていく。そして、そうした社会において、労働運動などの社会運動が活発になり、その中で人間が尊重されない社会を見抜き、差別と闘い、平等な社会を実現するために立ち上がった人々の動きを取り上げた学習につなげていく。まず、「解放令」が出された後50年経ってもひどい部落差別が続き、多くの人々を苦しめていた実態を資料から読み取る学習を行う。これまでの学習を思い起こしながら考えていけるよう、準備する資料や発問に工夫をしていく。次に、差別がなくならない社会に対し、差別からの解放を求めて立ち上がった西光万吉を取り上げた学習を行う。ここでは、厳しい差別の中で生きていくことは容易ではないことと、差別に対して行動を起こすことはとても勇気のいる行為であるということ、しっかりと認識させた上で学習をすすめる。そして、仲間とともに差別をなくしていくために、勇気をもって行動を起こした西光万吉の姿や考えを通して、差別に負けず行動を起こすことの大切さと団結することの意義に気付き、主体的に差別に対して行動を起こそうとする意欲がもてるよう学習を展開していく。そのために、資料の内容や提

示の仕方に工夫を凝らして学習を進めていく。

本時の学習としては、まず、前時で取り上げた西光万吉らの考えや行動を思い起こしながら、水平社が人々のどのような思いの中で創立大会の日を迎えたかということを考えさせる。そのために、読み物資料の他に写真を用い、視覚的にも水平社創立大会の雰囲気を感じ取れるよう工夫する。そして、水平社宣言を通し、水平社運動の考えを深く読み取り、理解する学習活動を取り入れていく。その際、ここで取り上げる水平社宣言は原文をそのまま取り扱うのではなく、生徒が水平社運動の考えを捉えやすいように書き直したものを用意する。さらに、資料にある水平社宣言を聞いた人々の姿を通し、水平社運動が当時の日本を大きく変える意義深いものであり、多くの人々に勇気と希望をあたえるものであったことをしっかり認識させたい。最後に、まとめとして、差別が当たり前であった当時の社会において、「人間が皆平等」という考えは画期的なことであり、真の平等な社会を実現することは大変な苦勞を伴うことであったにも関わらず、屈せず多くの仲間を集め、団結していったことの偉大な功績を再認識できるよう教師から話をする。そして、現在、こうして人権尊重が唱えられる社会に暮らすことができているのは、水平社運動を展開していった人々の力であることを実感し、あらゆる差別問題を自分の事と考え、団結して差別と闘っていくことの意義をふまえた上で、自分はこれから差別にどのように向き合い、生きていくのが望ましいか意見を書き、発表する活動を取り入れる。さらに、他の人の意見を参考にして、人権尊重が唱えられる現代社会を構成する一員として、この先人の残した功績を自分たちが引き継ぎ、差別をなくし、人権が尊重される社会をつくっていかうとする意欲をもち、具体的にどう行動したらよいか自己課題化できるようにして、授業の終末を迎えたい。

また、水平社宣言を聞いた人々の思いを、自分の言葉で表現したり、水平社運動から学んだことを通して、自分がこれから差別にどのように向き合い、生きていくのが望ましいか書いたりすることで、本校の研究テーマ『「書くこと」を中心として、自分の思いや考えを生き生きと表現する生徒の育成』の達成を目指したい。

4、学習計画 10時間

- | | | |
|-----|-----------------|----------------|
| 第1次 | 第一次大戦から総力戦 | ・・・1時間 |
| 第2次 | 日本の参戦と戦争の影響 | ・・・2時間 |
| 第3次 | 平和を求める声と独立を求める声 | ・・・1時間 |
| 第4次 | 民衆が選ぶ政党による政治 | ・・・1時間 |
| 第5次 | 都市の発展と社会運動 | ・・・4時間 (本時4/4) |
| 第6次 | 大衆文化・街頭の文化 | ・・・1時間 |

5、指導計画

第1時

学習活動	教師の支援	評価
○資料からどのような戦争が行われたか考える。 ○第一次世界大戦では、どのような国々が対立していたのか図から読み取る。 ○総力戦とはどういう意味か図から読み取る。 ○アメリカの参戦やロシア革命の原因やその影響を考える。	・自分の考えを整理して発表できるよう、小グループでの話し合いを取り入れる。 ・被害が悲惨さを増してきたことを映像・写真・記録・文学などの資料を通して具体的に理解できるようにする。	・関係図を活用して、ヨーロッパにおける連合国と同盟国の対立関係が指摘できる。 <資料活用> [発表] ・社会主義革命としてのロシア革命の性格を理解することができる。<知識・理解> [ワークシート]

第2時

学習活動	教師の支援	評価
<p>○図から第一次世界大戦中の日本のようすを読み取る。</p> <p>○日本が第一次世界大戦に参戦したのはなぜか考える。</p> <p>○二十一か条の要求で日本は中国にどんなことを認めさせたのか読み取る。</p> <p>○第一次世界大戦で日本とアメリカが大きな利益をえたのはなぜか考える。</p>	<p>・教科書の風刺画を参考に、日本の景気が第一次大戦中によくなっていることを理解できるようにする。</p> <p>・中国の側から日本の要求はどのように見えるか、考えるよう助言する。</p> <p>・戦場になったヨーロッパとの距離から考えてみるよう、助言する。</p> <p>・故事成語の「漁夫の利」を想起させて、考えるよう補助発問を取り入れる。</p>	<p>・日本が第一次大戦に参加したねらいを、日本の行動から考えることができる。〈思考・判断〉</p> <p>〔発表・ワークシート〕</p> <p>・日本の中国への進出が中国の人々にどのように受け止められたかに関心を持ち、意欲的に追究することができる。〈意欲・関心・態度〉</p> <p>〔発表〕</p>

第3時

学習活動	教師の支援	評価
<p>○日本やアメリカがシベリア出兵を行った理由を考える。</p> <p>○米が不足し、値上がりしたのはなぜか考える。</p> <p>○米騒動が社会にどのような混乱をもたらせたか考える。</p> <p>○差別を受けた部落の人々が騒動の首謀者のように、厳しく処罰された事実についてどう思うか意見を述べる。</p>	<p>・教科書の資料を参考に、米騒動の空間的広がりに気付くように補足して説明をする。</p> <p>・政府の対応から、米騒動の重大さに気が付くよう助言する。</p> <p>・解放令が出されて約50年経ったこの時期にも、ひどい部落差別が続いていることが認識できるようにし、今後の授業に繋げる。</p>	<p>・シベリア出兵の目的を理解することができる。〈知識・理解〉</p> <p>〔発表〕</p> <p>・米騒動の原因とそれが社会に与えた影響について、具体的な資料や事例にもとづいて考えることができる。〈思考・判断〉</p> <p>〔発表・ワークシート〕</p>

第4時

学習活動	教師の支援	評価
<p>○第一次大戦後、各国の代表はどんなことを要求したのか考える。</p> <p>○パリ講和会議でどのような話し合いや決定が行われたか考える。</p> <p>○ベルサイユ体制やワシントン体制がうまくいかなかった理由はなにか考える。</p> <p>○民族自決とはどういうことか考える。</p> <p>○日本における民主主義を求める動きはどうだったのか考える。</p>	<p>・戦争への関わり方に注目させ、各国を三つの立場に分類して考えるよう発問を工夫する。</p> <p>・戦勝国が敗戦国に過酷な要求をしたことを補足説明する。</p> <p>・国際連盟が力を持ち得なかった理由から考えるよう助言する。</p> <p>・民族自決の対極にある植民地の状態を対比して考えるよう助言する。</p>	<p>・ベルサイユ体制やワシントン体制の問題点に気付くことができる。〈思考・判断〉</p> <p>〔発表〕</p> <p>・第一次大戦後、独立を望んだアジアの人々の願いや行動に関心を持ち、意欲的に調べることができる。〈意欲・関心・態度〉</p> <p>〔発表・ワークシート〕</p>

第5時

学習活動	教師の支援	評価
<p>○人々はどのような政治を求めているのか考える。</p> <p>○護憲運動とはどのような運動か考える。</p> <p>○普通選挙法とはどのような法律で、新しく選挙権を得た人はどのような人か読み取る。</p> <p>○平塚らいてう「元始、女性は太陽であった」とはどんな意味か考える。</p> <p>○治安維持法とはどのような法律か読み取る。</p>	<p>・自由民権運動の資料と比較しながら、考えていけるよう補助発問を取り入れる。</p> <p>・治安維持法の条文を提示したり、取り締まりの具体例を挙げたりしながら、政府のねらいに気付くことができるようにする。</p>	<p>・大正デモクラシーの時代の女性運動に関心を持ち、意欲的に調べようとしている。</p> <p><意欲・関心・態度> [発表・ワークシート]</p> <p>・大正デモクラシーの時代が、民主主義の進展と弾圧の二面性をもっていたことを理解することができる。</p> <p><知識・理解> [ワークシート]</p>

第6時

学習活動	教師の支援	評価
<p>○私鉄の発展と住宅地や行楽地との関係を考える。</p> <p>○大正時代に都市が発展したのはなぜか考える。</p> <p>○都市の発展によって、どのような変化や問題が生まれたか考える。</p> <p>○大正時代に労働争議に労働者が多く関わったのはなぜか考える。</p>	<p>・自分の考えを整理して発表できるよう、小グループでの話し合いを取り入れる。</p> <p>・人口移動の実態を扱った資料や職業別収入を扱った資料を用意する。</p> <p>・自分の考えを整理して発表できるよう、小グループでの話し合いを取り入れる。</p>	<p>・第一次大戦後の資本主義の進展と社会変化との関係を、多面的・多角的に考察することができる。</p> <p><思考・判断> [発表]</p> <p>・資料から、当時の働く人々の実態と問題点が指摘できる。<資料活用> [発表・ワークシート]</p>

第7時

学習活動	教師の支援	評価
<p>○江戸時代に、差別を受けてきた人々のくらしはどのようなものであったか思い起こして発表する。</p> <p>○大正期の、部落差別の実態を学習する。</p> <p>○解放令が出された後も、差別が残っているのはなぜか考え、意見を発表する。</p>	<p>・人間としての誇りある生き方をしていたことを思い起こせるよう、過去の授業で扱った資料や書いた感想から考えるよう助言する。</p> <p>・自分の考えを整理して発表できるように、小グループでの話し合いを取り入れる。</p> <p>・資料を総合的にとらえ、生徒が深く考えて答えるよう、補助発問を取り入れる。</p>	<p>・資料から部落差別の実態を読み取ることができる。</p> <p><資料活用> [発表・話し合い]</p> <p>・解放令が出された後も、差別が残った背景を、指摘することができる。</p> <p><思考・判断> [ワークシート]</p>

第8時

学習活動	教師の支援	評価
<p>○資料から、西光万吉は差別に対してどのように生きてきたかを読み取り、発表する。</p> <p>◎なぜ、西光万吉は差別をなくすために立ち上がったと思うか、自分の意見を発表する。</p> <p>○差別をなくすために立ち上がった西光万吉の姿から、印象に残ったことや感じたことを用紙にまとめる。</p>	<p>・差別を受けてきた人が、行動を起こすことは決して容易でないことや、差別のある状況では、自由に生きていくことができないことに、気付いていけるよう補助発問を取り入れる。</p> <p>・団結して差別と闘うことの意味が理解できるよう、既習しているその他の社会運動に関連づけながら補足説明を取り入れる。</p> <p>・自分のことだけでなく、差別に苦しんでいる多くの人々のために、先頭に立って行動しようとする勇気に気付いていけるように補助発問を取り入れる。</p>	<p>・厳しい差別に負けず、解放を求めて立ち上がることは容易ではないことに気付くことができる。 ＜思考・判断＞ [発表]</p> <p>・勇気をもって行動を起こすことや団結して行動を起こすことの大切さに気付くことができる。 ＜思考・判断＞ [発表・ワークシート]</p>

第9時 省略

第10時

学習活動	教師の支援	評価
<p>○図を見て、今の住宅や生活と似たところを見つける。</p> <p>○大正時代に生まれたり広がったりした文化で、現在まで続いているものを考える。</p> <p>○『赤糸』を見て、印象に残ったことを発表する。</p> <p>○柳宗悦がしたことを読み取る。</p>	<p>・生徒が発言したものを、写真や絵、エピソード等で紹介する。</p> <p>・教育の普及や経済生活の向上など、新聞や雑誌が出版される背景について、補足して説明をする。</p> <p>・柳宗悦の評価した民芸の写真や実物資料等を用意する。</p>	<p>・資料から、大正時代に普及した生活様式と現在の生活様式との類似点を指摘できる。＜資料活用＞ [発表・ワークシート]</p> <p>・大正時代の庶民生活に関心をもち、現在の自分たちの生活と対比しながら調べることができる。 ＜意欲・関心・態度＞ [発表・ワークシート]</p>

6、本時の学習

(1) 目標

- ・ 水平社運動が社会に与えた影響の大きさや歴史的な意義に気付くことができる。
＜思考・判断＞
- ・ 差別にどのように向き合い、生きていくのが望ましいか考え、具体的にどう行動したらよいか自己課題化することができる。
＜意欲・関心・態度＞

(2) 本時の活動と研究主題とのかかわり

- 水平社創立大会に参加した人々の思いに共感し、水平社宣言を聞いた人の思いを自分の言葉で文章に表現できるようにする。
- 水平社運動から学んだことを通して、自分がこれから差別に向き合ってどのように生きていくことが望ましいかを考え、文章に表現できるようにする。

(3) 準備物

- ・ ワークシート
- ・ 読み物資料「大会のようすと水平社宣言」
- ・ 写真「水平社創立大会のようす」

(4) 展開

	学習活動および生徒の反応	教師の支援	評価 ☆支援
導入	● 前時の復習をする。	○西光万吉らが、みんなの力で差別と闘おうと立ち上がったことを確認する。	
展開	<p>● 水平社運動の考えと意義を学習する。</p> <p>○資料から、水平社創立大会のようすを読み取り発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・強い興奮した空気がある。 ・ぎっしりと人がつまっている。 ・落ち着かない感じがする。 <p>○資料の水平社創立大会の様子から、人々がどのような思いで集まっているか考えて発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・これから差別と戦っていくことを決意し、差別がなくなっていくことを期待している。 ・自分が差別される側の人間であることを明らかにすることへの不安をもっている。 <p>○資料にある水平社宣言のことから、水平社運動はどのような考えで進められた運動であるか、考えて発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人間を尊敬する運動 ・自由と平等を求める運動 ・祖先や我々を誇る運動 ・人生の熱や光を求め、その実現を目指す運動 <p>◎水平社宣言を聞いた人々は、どんな思いだったか、資料を参考に考え、用紙にまとめ発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・差別がいけないことだと社会に訴えることができうれしい。 ・これから勇気をもって差別と闘っていこうと強く決心している。 ・自分たちや自分たちの祖先の生き方を誇りに思っている。 	<p><資料、大会のようすと水平社宣言></p> <p>○西光万吉らは、自分たちの活動を「水平社」と名づけ、全国水平社の結成を呼びかけ、活動を広げていったことを説明した後に資料を読む。</p> <p>○差別を受けてきた人が、行動を起こすことは決して容易でないことや、多くの人が差別に苦しんでいたことに、気付いていけるよう補助発問を取り入れる。</p> <p>○資料のことばを参考に、どのようなことを目指した運動であるかという点に注意してまとめるよう助言する。</p> <p>○社会変革を目指した、意義ある活動であったことが実感できるように補足して説明する。</p> <p>○自主発言のない場合は、指名発言で、できるだけ多くの発言を引き出す。</p> <p>○人の意見を参考に聞き、考えを深めたり、広げたりできるようにする。</p>	<p>○水平社運動が社会に与えた影響の大きさや歴史的な意義に気付くことができる。</p> <p><思考・判断></p> <p>[発表・ワークシート]</p> <p>☆発表した人の意見を参考に、自分の考えをまとめる。</p> <p>☆授業後の個別指導を行う。</p>
まとめ	● 教師の話聞き、水平社運動を学び、自分はこれから差別にどのように向き合い、生きていくのが望ましいか意見を書き、発表する。	<p>○水平社運動が偉大な功績を再認識できるよう教師から話をする。</p> <p>○他の意見を参考に、運動の成果の下で暮らしている自分たちは、水平社運動を引きつぎ、差別のない平等な社会を形成していく責任があることに気づいていけるよう補足して説明する。</p>	<p>○差別にどのように向き合い、生きていくのが望ましいか考え、具体的にどう行動したらよいか自己課題化することができる。</p> <p><意欲・関心・態度></p> <p>[発表・ワークシート]</p> <p>☆発表した人の意見を参考に、自分の考えをまとめる。</p> <p>☆授業後の個別指導を行う。</p>

(5) 本時の具体的な評価

	十分満足できると判断される生徒の具体例	おおむね満足できると判断される生徒の具体例	支援を要する生徒への指導の手立て
関心 意欲 態度	水平社運動の考えを学び、運動の成果の下に暮らしている自分たちは、水平社運動を引きつぎ、差別のない平等な社会を形成していく責任があることに気づいて、自分の考えを書くことができる。	水平社運動を進めた人々や水平社創立大会に参加した人々に共感し、水平社運動から学んだことを自分のこれからの生き方に取り入れて、自分の考えを書くことができる。	団結することの意義や差別と闘うことの大切さを、自分のこれからの生き方にどのように取り入れていけばよいか考えることができず、自分の考えをまとめることができない生徒には、補足説明と個別に事後指導を行う。
思考 判断	水平社運動を進めた人々や水平社創立大会に参加した人々の思いに共感し、水平社運動が社会に与えた影響の大きさや歴史的な意義を指摘することができる。	発表した人の意見を参考に、水平社運動が社会に与えた影響の大きさや歴史的な意義に気づくことができる。	発表した人の意見を参考にしても、水平社運動が社会に与えた影響の大きさや歴史的な意義に気づくことができにくい生徒には、個別指導と補足説明を行う。

(6) 本時の授業の視点

- ・用意した資料は、水平社運動が社会に与えた影響の大きさや歴史的な意義に気づく上で、効果的なものであったか。
- ・水平社運動を進めた人々や水平社創立大会に参加した人々の思いに共感し、水平社運動が社会に与えた影響の大きさや歴史的な意義に気づく上で、適切な学習の組み立てであったか。